

令和5年度学校評価アンケート結果のまとめ

滋賀県立虎姫高等学校

分析	高い評価（A評価）	課題のある部分
教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の読書意欲を喚起するよう広報活動を工夫し、居心地の良い図書館づくりに努めている。</li> <li>・学校生活の安全を図り、事故、怪我、病気等には迅速・適切に対応している。</li> <li>・保護者をはじめとする、外部からの電話連絡や来訪、問い合わせ等に丁寧に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IBDPの実践が、学校全体の教育活動の改善に前向きな影響をもたらしている。</li> </ul>
	<p>特色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SSHおよび国際バカロレア・ディプロマプログラムの実施</li> <li>・定期的な面談週間の実施による面談の充実と個別指導を含む学習指導</li> <li>・全校的な探究的な授業への改善の取り組み</li> <li>・高大連携の充実</li> <li>・生徒主体の学校行事の運営</li> </ul>	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防寒具の着用ルールなど服装指導について</li> <li>・交通マナーの向上について</li> <li>・美化意識の涵養</li> <li>・IBDPの改善</li> </ul>
保護者・関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや学校新聞などにより、学校の様子をわかりやすく紹介している。</li> <li>・生徒の心身の健全な発育のため、適切に部活動を行っている。</li> <li>・虎姫高校の教職員は、電話連絡や訪問の際の対応が丁寧で相談しやすい。</li> <li>・PTAと協力し、広報誌の発行や学園祭の活性化などに取り組んでいる。</li> <li>・学校生活が充実するよう生徒会活動や学校行事など、生き生きと生活できる学校づくりに努めている。</li> <li>・身だしなみや遅刻指導など、基本的な生活習慣の指導に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望が実現するよう、きめ細かい面談や進路情報の提供に努めている。</li> <li>・安心して学校生活を送れるよう、いじめの防止など人権を大切にする教育に努めている。</li> <li>・施設や設備など学習環境の改善・充実に努めている。</li> </ul>
生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に対する成績評価は納得できるものになっている。</li> <li>・LHR・講演会・サマーセミナーなど、将来の職業や働く意義などについて考える機会が多い。</li> <li>・希望者補習や進学補習、補充講座・休日学習会など学ぶための環境が多く提供されている。</li> <li>・個人面談や進路相談が丁寧に行われている。</li> <li>・生徒の必要としている進路情報が適切に提供されている。</li> <li>・LHRや行事等において、命の尊さや人権の大切さを丁寧に学ぶ機会が設けられている。</li> <li>・文化祭、体育祭等の行事が、生徒会により自主的に運営されている。</li> <li>・仲間を大切に、明るく生き生きとした学校生活を送っている生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSHや高大連携事業は、生徒の学習意欲や進路意識を高め、学力向上に役立っている。</li> <li>・国際バカロレア教育により生徒に多様な学びの選択肢を提供している。</li> <li>・「究理」や「総合的な探求の時間」における探究活動が主体的に学ぼうとする意欲を高めている。</li> </ul>

分析	<ul style="list-style-type: none"><li>・全体として生徒・保護者等関係者・教職員による評価は、項目により多少の差はあるもののおおむね高く、教職員が学校の教育目標を常に意識しながら教育活動にあたっていること、またそれに基づく本校の取り組みが一定理解されていることが高評価につながっていると思われる。</li><li>・本校の特色であるSSHやIBに関する項目では、教員の自己評価、生徒、保護者/学校関係者の間で評価がばらついており、円滑な事業実施に向けた今後のより一層の改善が求められる。</li><li>・共通して評価が高かったのは、学校行事や充実した個人面談・相談体制に係る項目で、結果的に明るく生き生きとした学校生活を送っている生徒の割合の高さにつながっているものと思われる。</li><li>・校内美化を含めて、身の回りを美しくする姿勢については、生徒・保護者とも共通して評価が低い項目となっており、基本的な生活習慣の改善と合わせて、学校と家庭が協力して取り組んでいく必要がある。</li></ul>
----	---